《緑のまちカフェ》
第１回　“緑・花のある暮らしについて楽しく話しましょう”

日　時：平成 29 年１月 21 日（土）午後１時～3 時
場　所：女川フューチャーセンター　カマス
参加者：22 名

お庭や花壇づくりをざっくばらんにお話し、様々なお庭や花壇を紹介しました。参加者のみなさん同士による、積極的な情報交換を行うことができました

１　あいさつ（まち活担当）

現在町では宅地造成後の住みよい環境づくりを進めているところです。その一つとして、緑化整備への助成をしており、町民みなさんのご協力のもと緑でいっぱいの潤いあるまちづくりを進めています。また、まちなみデザインガイドラインという、住宅を建てる際に守っていただきたいルールを作ってきました。

一方、“まち活”は、みなさん主体で進めていきたい活動を応援しています。

緑の活動と“まち活”を合体したものが、「緑の“まち活”」です。

様々なご相談も受けながら、同じ興味を持った方々のネットワークづくりを応援しています。今回の場が、そのきっかけづくりとなることを願っています。

自立再建の方も、災害公営住宅の方も、中心部、離半島部の方も同じように、居心地の良い街並みづくりを進めていただきたいと考えています。

また、緑のまち活を進める過程で、「みんなで一緒に花壇を作りたい」というお話があれば、町としても考えていきます。

２　緑・花のある暮らしを語ろう

（１） 自己紹介

（２） お庭づくりを実践している方の思い

＜荒立東地区　Ａさん＞

・初めて手作りの庭を主人と作りました。以前より、オリーブを植えたかったです。二人で手入れできる範囲の庭にしました。植木屋さんに聞いたり、インターネットや本で勉強しました。
・家を建てて外構を設計した時と、住んでみての庭のイメージと異なっていました。当初、砂利にしていた場所に、木をプランターを置いたのですが、地植えしたいと考え、砂利を除いて、半径 70cm 位、深さ 40cm 位を掘るのに半日もかかって、とても大変でした。
・花言葉が平和というオリーブは、震災前から植えたかった木です。自宅ができる前から、ひとめぼれをした背の高いオリーブを思い切って買い求め、正解でした。
・去年の夏から庭づくりを始めました。インターネットで木も購入しました。

（3）お庭づくりと緑への取り組みを進められている方の思い

＜駅北地区　B さん＞

・震災前は、月桂樹と白木蓮が大きくなって扱いに困りました。これからは、シンボルツリーとして、桂を植えたいと思っています。
・花はうまくできないので、芝にしようと思っています。もともと金華山に自生しており、潮風にも耐性が強い金華芝を植える計画です。
・緑の活動として、女川駅周辺の線路沿いに桜を 30 本植えてきました。今年の 3 月に、同じ位の規模で桜を植える予定です。鉄道沿いを桜のトンネルにして、町に来る方に、「トンネルを抜けると女川」と思ってもらいたいです。新庁舎のまわりにも桜を植えて、桜の街にしようと考えています。現在、アーチ橋となっている観音沢筋には、ツツジを植えています。

＜竹浦　C さん＞

・竹浦の集落は、津波で壊滅してしまいました。再建するのであれば、景観にマッチした美しい家並みをつくりたいと夢を描いていました。その時、日本建築士連合会との話が持ち上がり、応援していただきながら、何度も何度もワークショップを重ねました。しかし、参加するのがしんどいため、参加者が少なくなり、最終的には、自立再建 12 戸のうち、9 軒が一緒に家並みをつくることになりました。屋根はスレートを模した黒い瓦、壁は上部が白で、下を黒っぽい色にしています。町にこの話をしたところ、災害公営住宅もこの色合いに統一してもらいました。集会場も、石巻工業高校建築科の生徒達のアイデアを生かしています。

＜竹浦　D さん＞

・海に向かって、コの字型に杉林があり、基本的には三方に緑がある地区です。その中にできる家はどのような建物がよいか考え、屋根が黒っぽく、壁の上側が白、下側が黒っぽい色合いにしました。当初、杉の板を利用しようと考えていましたが、新建材を使うことになりました。周りに高木があるので、庭には 2m位迄の低木にすることになりました。

＜内山地区　E さん＞

・敷地があるので、家の周囲が空いています。ナチュラルガーデンのようにしたいと思っていたので、フェンス側には土を入れてもらい、その他は砂利を入れてもらいました。

・オリーブが好きで植えたいと思っています。内山は風当りが強く、高い木は難しそうです。どうしたら、素人らしくない庭ができるでしょうか。庭づくりを始めるためには、どこからどう手をつけたらよいか、よくわかりません。
・全体的な統一感がでる庭づくりをどうしたらよいか、教えてもらいたいです。

（４）共同花壇の取り組みを進められている方の思い・お悩み

＜運動公園住宅　Ｆさん＞

・８棟、200 世帯が入居する集合住宅に住んでいます。入居した平成 26 年４月、きれいな木や花があり、良い環境で嬉しくなって入りました。
・年２回のクリーン作戦と防災訓練があり、最初は 135 名来て、協力的だなと思いました。しかし、入居者の 50%程度が 65 歳以上です。参加者は翌年から年々減っていき、腰が痛い、足が痛い、こういう訳で参加できない、という人が増えてきました。お金を出しても良いので業者に手入れをしてもらいたい、ということになりました。花壇が多く、草取りが大変で、一番の悩みでした。年金生活者も多いので罰金をとることもできません。生活支援課に相談したところ、何とかしましょうという事で、造園の対応として、花壇の一部を取ってもらいました。
・平成 27 年度に、花壇の団体貸し出しができることになり、今年から一部に共同花壇をつくって、パンジーやチューリップを植えています。10 月に、個人で貸してほしいという人がきました。その際は、もめごとになるので、実のなる木は止めることになりました。鹿の問題もあります。現在は、草を取ってもらうことを条件に、12 名の方に花壇を個人で利用してもらっています。
・何でも一気に進めるのは難しく、徐々に進めた方が良いと思います。

（５）花・緑のワンポイントアドバイス

＜阿部造園さん＞

・まず、はじめにすること

常緑樹や、花の咲く木など、好きなものを植えていくのが良い。まずは、土づくりから始めてみましょう。

無理せず、自分の管理できる広さで作りましょう。

・土について

木は下地（土壌）が大事です。庭に木を植える穴を掘るのが大変です。助成金をうまく活用しながら、業者に頼むと良いです。

・金華芝について

高麗芝より青みあり、害獣・病気にも強い芝です。

東北大の先生が研究した結果、一般の庭にも植えることができることが分かりました。

女川の第一号は、３～４月に藤中先生の庭に植えます。

金華芝の値段は、他の芝より平米あたり 100 円高い程度です。今年の春くらいから流通できるようになります。

（６）質疑応答

・出島のように、日陰・風が強い北側に合う花や木は？

＞花だとビオラ、ムラサキシキブ、ヤマブキ、ドウダンツツジ

・シカ対策

＞アセビ、アジサイ。葉も実も食べません。

＞西区では、鹿の対策をしてきた。フェンス（２m程度）設置などで工夫しています。

・土の深さは？

＞根鉢の倍の穴を掘り、培養土など入れます。掘るための道具は、つるはし、トンガがあります。

＞女川の土壌は固いので大変です。小さな重機で整備すれば簡単に土壌改良できます。

＞木を植える時期は、暖かくなった春になると思います。土を入れるなら春先までが良いです。

・戸建ての公営住宅に住んでいます。プランター替わりに漁の籠を使ってもよい？

＞漁業で使っている樽も活用できます。

＞籠ですと、土が乾燥しやすいので、底に砂利を敷いたり、内側に発泡スチロールを入れるなどして、あるものを活用できます。

３　いろいろなお庭と街並み紹介

緑と花の楽しみ方はそれぞれです。お庭と花壇に分けて説明します。

＜お庭＞

・お花のいっぱいある庭は、季節感を暮らしにもたらします。

・イングリッシュガーデンのお庭は、自然の彩りを暮らしにもたらします

・バラの咲くお庭は、彩りと香りを暮らしにもたらします。

・ハーブ・野菜のお庭は、目を楽しませるだけでなく、豊かな食を暮らしにもたらします。

・芝生のお庭は、心地よさを暮らしにもたらします。

・和風のお庭は、落ち着きと安らぎを暮らしにもたらします。

お花のいっぱいある庭

ハーブ・野菜のお庭

和風のお庭

花壇は、共有スペースの活用方法として効果的です。

・コミュニティガーデン（共同花壇）は、まちと暮らしを明るくします。
・コミュニティ菜園（共同・個別菜園）は、みんなで育てて、収穫して楽しむことができます。
・個人の花壇（プランター・鉢）は、個性豊かです。みんな集まって、わいわい作業をすることもできます

コミュニティガーデン

コミュニティ菜園

個人の花壇

お庭や花壇を楽しむことは、緑と花による彩りのある暮らしや、コミュニティづくり、そして、素敵なまちなみをつくることにつながります。

４　緑のまちづくり助成の概要

去年７月から緑のまちづくり助成制度を開始し、緑化整備について最大 20 万円助成しています。震災により住宅再建された方最大 20 万円、戸建て災害公営住宅の方は最大 10 万円です。また、既存住宅の方でもこれから緑化される方は最大 10 万円です、この制度をご存知無い方が多くいらっしゃると思います。ご近所で庭づくりがお好きな方がいれば教えてあげてください。

まずは復興推進課までご相談ください。予定している木や花が助成の対象になっているかというご相談や様々な疑問にお答えします。なお、申請窓口は、生活支援課となります。

対象になるものは、シンボルツリー、生垣、法面の芝生、それに付随する雨水タンク、宅地内側溝など。

緑のまちなみを維持するための制度のため、１ 年草は対象となりませんが、多年草であるバラやラベンダーなどは対象となります。

花や木だけでなく、花壇をつくるための工事費も対象となります。ハウスメーカーに一括して外構を発注した方は、庭部分の整備費がわかるような明細が必要となります。

災害公営住宅（戸建て）は、プランターで育てることとなると思います。木が数年にわたり維持されるようなものであれば対象となります。ただし、屋内用のプランターや盆栽は、個人の観賞目的となるため対象になりません。

制度は、平成 32 年度末迄となります。世帯ごと、１宅地に対して、１回に限ります。お気軽にご相談ください。

５　フリートーク

・金華芝について

＞通常の芝と同様、刈り込みが必要です。

・女川団地で、柚子・コクワ・ブドウ・ユーカリを植える場合、どう植えるのが良いか。

＞柚子・コクワは、どこでも良い。ブドウは、陽が当たるところが良い。風が強いと土が乾燥してしまうため風対策や、ハチ対策が必要です。ブドウは、ハチが来てしまう

・菜園づくり

＞枕木などで囲い、良い土を入れることが大切です。

・堆肥づくり

＞広い場所があれば、枝葉くずを山にして、５ 年位かけると自然に土になっていきます。家庭でつくる場合は、段ボールに野菜を入れておけば、そのまま発酵して堆肥になります。

６　次回以降のお知らせ

〇第２回 は、“ガーデニングデザインをしましょう”

日　時：２月25日（土）午後１時～午後３時

場　所：フューチャーセンター　カマス

〇第３回は、３月に視察を予定しています。

最後に、花友さんの手作りプレゼントをお渡しました。

参考）お住まいの場所に、シール（緑色●）を張っていただきました。